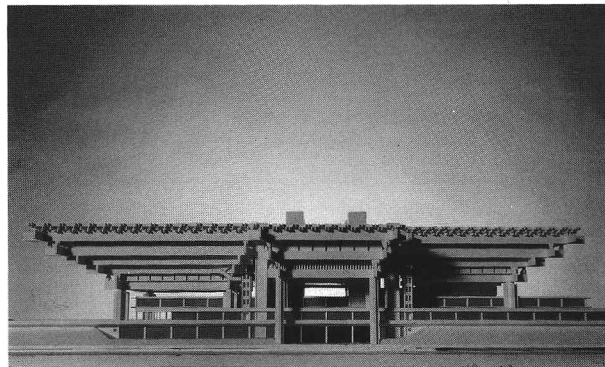


014 国立京都国際会館コンペ案

京都府 建築設計——菊竹清訓建築設計事務所

1963年

張出し梁は曲げに有利である。両方向に張出し梁を重ねると、すり鉢型の空間が得られる。スパンが最大70mと大きく、横の支えがない。この梁を中空のプレストレストコンクリートの梁とし、自重の軽減と、横方向にも強くした。



左：プロジェクト全景
右：立面
右頁：井桁状にせり出した外部
撮影：小山孝

